

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有成分	文献	症例	適正使用 措置	感染症(PID)	出典	概要
747	2007/11/21	70747	CSLベレー ング	ベプシン処理人免疫グロブリンG	ベプシン処 理人免疫グ ロブリンG	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オース トリア	有効成分	有	無	無	パルボウイル ス	J Gen Virol 2007; 88: 2162-2167	ヒト血液プール中に新規のパルボウイルスPARV4とその 変異株であるPARV5が存在することが最近示された。4株 のPARV4と2株のPARV5のDNA配列を分析したところ、 PARV5はPARV4と同様に2つのオープンリーディングフ レームを持ち、PARV4とPARV5は92%近くのヌクレオチド 相同性を示した。両者は密接な関係のあるジェノタイプで あり、ジェノタイプ1と2(PRV5と呼ばれていたもの)から成 るPARV4という1つのウイルス名を使用することを提案す る。
748	2007/11/21	70748	CSLベレー ング	ベプシン処理人免疫グロブリンG	ベプシン	ブタの胃	米国	製造工程	無	無	無			
749	2007/11/21	70749	CSLベレー ング	人免疫グロブリン	人免疫グロ ブリン	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オース トリア	有効成分	有	有	無	パルボウイル ス	J Gen Virol 2007; 88: 2162-2167	70747に同じ
750	2007/11/21	70750	富士フイル ムRIファーマ	テクネチウム人血清アルブミン(99mTc)	テクネチウ ム人血清ア ルブミン(99 mTc)	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	ProMED- mail20070423.1325	オーストラリアのVictoriaで、一人のドナーから臓器移植を 受けた3例が死亡したが、未知のウイルスが原因であっ た。このウイルスはリンパ性脈絡髄膜炎ウイルスと近縁で あったが、既存のスクリーニング法では検出されなかつ た。454 Life Sciencesによって確立された迅速シーケン シング技術とGreene Laboratoryによって開発されたハイ オインフオマティクスアルゴリズムによって発見された。
												鳥インフルエン ザ	Emerg Infect Dis 2007; 13: 1348- 1353	2006年5月にインドネシアのスラバヤ北部でおよび2005年 12月にトルコ東部の家族で観察されたトリインフルエンザ H5N1の集団が、ヒト-ヒト伝播によるかを統計的方法 を用いて調べた。スマトラの例ではヒト-ヒト伝播の統計学 的エビデンスが見られ、概算された2次感染率は29%、局 所的増殖数の下限値は1.14であった。トルコの例ではヒト -ヒト伝播のエビデンスは得られなかった。